

表14: 基本属性とDSM-IV診断による精神障害の生涯診断との関連: オッズ比と95%信頼区間

	人数	いずれかの気分障害			いずれかの不安障害			いずれかの物質関連障害			いずれかの精神障害		
		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間	
			下限	上限		下限	上限		下限	上限		下限	上限
性別													
男性	414	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
女性	437	1.94	0.98	3.85	4.28	1.60	11.45	0.25	0.15	0.41	0.49	0.33	0.73
年齢層													
20-34歳	150	1.44	0.46	4.51	4.11	0.63	26.96	3.63	1.54	8.52	2.91	1.44	5.88
35-44歳	170	1.87	0.68	5.14	5.06	0.94	27.20	2.48	1.13	5.45	2.43	1.29	4.61
45-54歳	157	1.46	0.50	4.31	2.45	0.36	16.52	2.76	1.27	5.99	2.13	1.12	4.06
55-64歳	182	1.34	0.49	3.67	3.02	0.64	14.31	2.45	1.18	5.10	1.97	1.08	3.58
65歳以上	192	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
婚姻状態													
結婚している(事実婚含む)	618	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
一度も結婚したことはない	152	1.60	0.74	3.46	0.89	0.28	2.88	0.62	0.35	1.09	0.71	0.44	1.17
死別・別居・離婚	81	1.23	0.48	3.17	0.63	0.13	2.98	0.47	0.19	1.17	0.74	0.39	1.43
学歴													
高卒未満	91	0.83	0.31	2.24	0.89	0.22	3.69	2.29	1.12	4.68	1.52	0.82	2.81
高卒	360	0.49	0.24	1.00	0.53	0.20	1.45	1.23	0.76	2.01	0.94	0.62	1.43
短大・専門学校	195	0.42	0.18	0.98	0.29	0.08	1.02	1.17	0.64	2.14	0.78	0.47	1.30
大卒以上	205	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
雇用状態													
就業者	604	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
学生	8	0.00	0.00		0.00	0.00		1.87	0.32	10.99	1.16	0.22	6.20
家事	133	1.46	0.64	3.30	0.19	0.02	1.51	0.77	0.32	1.86	0.84	0.45	1.58
引退	78	1.00	0.27	3.76	6.41	1.72	23.96	0.84	0.37	1.91	1.27	0.65	2.46
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	28	2.24	0.72	6.98	0.00	0.00		2.50	1.02	6.16	1.99	0.88	4.54

注) 経験あり = 1, n = 851

表15: 基本属性とDSM-IV診断による精神障害の12ヶ月診断との関連:オッズ比と95%信頼区間

	人数	いずれかの気分障害			いずれかの不安障害			いずれかの物質関連障害			いずれかの精神障害		
		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間	
			下限	上限		下限	上限		下限	上限		下限	上限
性別													
男性	414	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
女性	437	2.19	0.84	5.71	15.97	1.40	182.12	1.32	0.32	5.51	2.35	1.10	5.02
年齢層													
20-34歳	150	2.57	0.47	14.10	4.93	0.27	89.64	3.29	0.40	26.85	4.63	1.15	18.72
35-44歳	170	3.11	0.65	14.88	2.96	0.19	45.14	1.91	0.25	14.75	3.73	0.99	14.04
45-54歳	157	1.33	0.22	7.97	1.25	0.05	33.39				2.41	0.58	10.10
55-64歳	182	1.55	0.30	7.92	0.00	0.00		1.00	-	-	1.12	0.27	4.70
65歳以上	192	1.00	-	-	1.00	-	-				1.00	-	-
婚姻状態													
結婚している(事実婚含む)	618	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
一度も結婚したことはない	152	1.73	0.62	4.82	0.00	0.00		3.54	0.57	21.96	1.39	0.60	3.21
死別・別居・離婚	81	0.88	0.19	4.16	0.91	0.09	9.46	2.35	0.20	27.34	1.26	0.40	3.96
学歴													
高卒未満	91	1.37	0.30	6.30	0.00	0.00		0.68	0.07	6.76	1.25	0.35	4.49
高卒	360	1.09	0.38	3.14	2.54	0.22	29.19	0.14	0.02	1.28	1.06	0.45	2.47
短大・専門学校	195	0.67	0.19	2.38	1.54	0.13	18.74	0.51	0.11	2.33	0.81	0.31	2.09
大卒以上	205	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
雇用状態													
就業者	604	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
学生	8	0.00	0.00		0.00	0.00		7.79	1.10	55.38	3.81	0.66	22.03
家事	133	1.09	0.31	3.78	0.00	0.00		1.10	0.11	11.05	0.89	0.30	2.60
引退	78	0.92	0.10	8.40	21.39	2.32	197.63	0.00	0.00		3.48	0.92	13.21
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	28	3.40	0.90	12.78	0.00	0.00		0.00	0.00		2.20	0.60	8.04

注) 経験あり = 1, n = 851. いずれかの物質関連障害については55-64歳、および65歳以上に経験ありの者がいなかったため、45歳以上をレファレンスとした。

表16: 基本属性とICD-10診断による精神障害の生涯診断との関連: オッズ比(OR)と95%信頼区間(95%CI)

	人数	いずれかの気分障害			いずれかの不安障害			いずれかの物質関連障害			いずれかの精神障害		
		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間		オッズ比	95% 信頼区間	
			下限	上限		下限	上限		下限	上限		下限	上限
性別													
男性	414	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
女性	437	1.43	0.70	2.90	2.84	1.26	6.42	0.25	0.15	0.41	0.50	0.34	0.74
年齢層													
20-34歳	150	1.50	0.46	4.88	9.12	2.05	40.60	3.63	1.54	8.52	3.27	1.62	6.60
35-44歳	170	2.02	0.71	5.75	7.54	1.83	31.05	2.48	1.13	5.45	2.59	1.37	4.90
45-54歳	157	1.16	0.36	3.72	3.39	0.70	16.37	2.76	1.27	5.99	2.25	1.18	4.29
55-64歳	182	1.46	0.52	4.12	2.03	0.48	8.60	2.45	1.18	5.10	1.94	1.06	3.54
65歳以上	192	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
婚姻状態													
結婚している(事実婚含む)	618	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
一度も結婚したことはない	152	1.27	0.56	2.87	0.51	0.19	1.38	0.62	0.35	1.09	0.61	0.37	1.00
死別・別居・離婚	81	1.13	0.41	3.13	1.11	0.35	3.49	0.47	0.19	1.17	0.81	0.43	1.53
学歴													
高卒未満	91	0.60	0.20	1.83	1.19	0.33	4.26	2.29	1.12	4.68	1.48	0.79	2.76
高卒	360	0.46	0.22	0.96	0.71	0.30	1.70	1.23	0.76	2.01	0.98	0.65	1.49
短大・専門学校	195	0.48	0.20	1.13	0.65	0.25	1.66	1.17	0.64	2.14	0.84	0.50	1.39
大卒以上	205	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
雇用状態													
就業者	604	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
学生	8	0.00	0.00		0.00	0.00		1.87	0.32	10.99	1.20	0.23	6.37
家事	133	1.66	0.70	3.93	0.79	0.27	2.28	0.77	0.32	1.86	0.81	0.43	1.51
引退	78	1.06	0.28	3.99	5.99	1.69	21.23	0.84	0.37	1.91	1.22	0.63	2.39
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	28	3.69	1.27	10.75	2.57	0.68	9.69	2.50	1.02	6.16	2.38	1.06	5.35

注) 経験あり = 1, n = 851

表17: 基本属性とICD-10診断による精神障害の12ヶ月診断との関連: オッズ比と95%信頼区間

	人数	いずれかの気分障害			いずれかの不安障害			いずれかの物質関連障害			いずれかの精神障害		
		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	
性別													
男性	414	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
女性	437	1.85	0.67	5.13	4.58	1.01	20.85	1.32	0.32	5.51	2.09	0.98	4.42
年齢層													
20-34歳	150	2.44	0.33	18.01	13.34	1.09	163.98	3.29	0.40	26.85	7.92	1.77	35.42
35-44歳	170	4.88	0.80	29.54	12.61	1.18	134.12	1.91	0.25	14.75	7.03	1.70	29.10
45-54歳	157	1.21	0.14	10.56	5.45	0.39	77.08				3.79	0.82	17.60
55-64歳	182	2.41	0.38	15.34	0.00	0.00		1.00	-	-	1.76	0.39	8.03
65歳以上	192	1.00	-	-	1.00	-	-				1.00	-	-
婚姻状態													
結婚している(事実婚含む)	618	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
一度も結婚したことはない	152	1.62	0.55	4.74	0.17	0.02	1.46	3.54	0.57	21.96	0.98	0.42	2.28
死別・別居・離婚	81	0.46	0.06	3.85	0.73	0.08	6.31	2.35	0.20	27.34	0.77	0.21	2.83
学歴													
高卒未満	91	1.05	0.18	6.06	3.27	0.40	26.70	0.68	0.07	6.76	1.83	0.55	6.08
高卒	360	0.95	0.31	2.89	1.00	0.20	5.09	0.14	0.02	1.28	0.90	0.38	2.11
短大・専門学校	195	0.75	0.21	2.74	1.10	0.22	5.38	0.51	0.11	2.33	0.85	0.34	2.13
大卒以上	205	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
雇用状態													
就業者	604	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
学生	8	0.00	0.00		0.00	0.00		7.79	1.10	55.38	4.88	0.83	28.67
家事	133	1.10	0.27	4.41	0.40	0.05	3.50	1.10	0.11	11.05	1.00	0.34	2.89
引退	78	1.20	0.13	11.18	18.08	2.42	134.99	0.00	0.00		4.56	1.19	17.49
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	28	6.41	1.84	22.29	5.77	1.00	33.36	0.00	0.00		4.68	1.57	13.96

注) 経験あり = 1, n = 851. いずれかの物質関連障害については55-64歳、および65歳以上に経験ありの者がいなかったため、45歳以上をレファレンスとした。

表18:こころの健康に関する受診・相談行動の頻度:

	これまで		過去12ヶ月間		過去30日間	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
受診・相談先						
精神科医	5.2%	44	1.6%	14	0.9%	8
一般医	4.3%	37	1.2%	10	0.5%	4
医師合計	7.5%	64	2.3%	20	1.3%	11
その他の専門家	2.3%	20	0.4%	3	0.1%	1
その他の相談先	1.6%	14	0.1%	1	0.0%	0
相談先合計	10.0%	85	2.7%	23	1.4%	12

注:受診・相談先は以下のとおり。精神科医＝精神科医。一般医＝一般開業医あるいはかかりつけ医、循環器医、産婦人科医、泌尿器科医など、その他の医者。医師合計＝精神科医あるいは一般医。その他の専門家＝心理士、ソーシャルワーカー、カウンセラー、心理療法家のようなその他のメンタルヘルスの専門家、看護師、医療助手など(その他)の医療専門家。その他の相談先＝お坊さん、牧師などの宗教家、漢方医、整体師、心霊術師、霊ばい師などその他の治療家。相談先合計＝以上のいずれかの受診・相談先。

表19:DSM-IVによる診断別のこころの健康に関する受診・相談行動の頻度

	これまでの生涯		過去12ヶ月間		過去30日間	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
大うつ病性障害		(N=45)		(N=21)		(N=2)
精神科医	33.3%	15	19.0%	4	0.0%	0
一般医	17.8%	8	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	37.8%	17	19.0%	4	0.0%	0
その他の専門家	17.8%	8	4.8%	1	0.0%	0
その他の相談先	13.3%	6	4.8%	1	0.0%	0
相談先合計	53.3%	24	28.6%	6	0.0%	0
いずれかの気分障害		(N=53)		(N=25)		(N=4)
精神科医	32.1%	17	20.0%	5	25.0%	1
一般医	18.9%	10	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	37.7%	20	20.0%	5	25.0%	1
その他の専門家	15.1%	8	4.0%	1	0.0%	0
その他の相談先	11.3%	6	4.0%	1	0.0%	0
相談先合計	50.9%	27	28.0%	7	25.0%	1
いずれかの不安障害		(N=25)		(N=8)		(N=2)
精神科医	52.0%	13	12.5%	1	0.0%	0
一般医	44.0%	11	12.5%	1	0.0%	0
医師合計	68.0%	17	25.0%	2	0.0%	0
その他の専門家	24.0%	6	0.0%	0	0.0%	0
その他の相談先	12.0%	3	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	76.0%	19	25.0%	2	0.0%	0
いずれかの物質関連障害		(N=132)		(N=10)		(N=2)
精神科医	9.8%	13	0.0%	0	0.0%	0
一般医	5.3%	7	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	11.4%	15	0.0%	0	0.0%	0
その他の専門家	3.0%	4	0.0%	0	0.0%	0
その他の相談先	4.5%	6	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	15.9%	21	0.0%	0	0.0%	0
いずれかの精神障害		(N=187)		(N=40)		(N=8)
精神科医	16.6%	31	15.0%	6	12.5%	1
一般医	11.8%	22	2.5%	1	0.0%	0
医師合計	21.4%	40	17.5%	7	12.5%	1
その他の専門家	5.3%	10	2.5%	1	0.0%	0
その他の相談先	5.9%	11	2.5%	1	0.0%	0
相談先合計	27.8%	52	22.5%	9	12.5%	1

*「これまでの生涯」＝生涯診断ありの者の中でこれまでの生涯に受診経験ありの者の割合。

「過去12ヶ月間」＝過去12ヶ月間に診断ありの者の中で過去12ヶ月間に受診経験ありの者の割合。

「過去30日間」＝過去30日間に診断ありの者の中で過去30日間に受診経験ありの者の割合。

注1:疾患グループは以下のとおり。いずれかの気分障害＝大うつ病、小うつ病、躁病エピソード、双極I型障害、軽躁病エピソード、双極II型障害、気分変調性障害。いずれかの不安障害＝パニック障害、広場恐怖、社会恐怖(社交不安障害)、特定の恐怖症、全般性不安障害、外傷後ストレス障害。いずれかの物質関連障害＝アルコール乱用あるいは依存症、薬物乱用あるいは依存症。いずれかの精神障害＝以上のいずれかの精神障害。

注2:受診・相談先は表18を参照のこと。

表20:ICD-10による診断別のこころの健康に関する受診・相談行動の頻度

	これまでの生涯		過去12ヶ月間		過去30日間	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
重症うつ病エピソード	(N=22)		(N=9)		(N=0)	
精神科医	45.5%	10	44.4%	4	0.0%	0
一般医	31.8%	7	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	54.5%	12	44.4%	4	0.0%	0
その他の専門家	18.2%	4	11.1%	1	0.0%	0
その他の相談先	13.6%	3	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	68.2%	15	55.6%	5	0.0%	0
全てのうつ病エピソード	(N=44)		(N=19)		(N=2)	
精神科医	31.8%	14	21.1%	4	0.0%	0
一般医	15.9%	7	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	36.4%	16	21.1%	4	0.0%	0
その他の専門家	13.6%	6	5.3%	1	0.0%	0
その他の相談先	11.4%	5	5.3%	1	0.0%	0
相談先合計	50.0%	22	31.6%	6	0.0%	0
いずれかの気分障害	(N=49)		(N=22)		(N=4)	
精神科医	36.7%	18	27.3%	6	50.0%	2
一般医	18.4%	9	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	40.8%	20	27.3%	6	50.0%	2
その他の専門家	12.2%	6	4.5%	1	0.0%	0
その他の相談先	10.2%	5	4.5%	1	0.0%	0
相談先合計	53.1%	26	36.4%	8	50.0%	2
いずれかの神経症性・ストレス性障害	(N=38)		(N=14)		(N=5)	
精神科医	39.5%	15	7.1%	1	0.0%	0
一般医	34.2%	13	7.1%	1	0.0%	0
医師合計	50.0%	19	14.3%	2	0.0%	0
その他の専門家	15.8%	6	7.1%	1	0.0%	0
その他の相談先	2.6%	1	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	57.9%	22	21.4%	3	0.0%	0
いずれかの精神作用物質による障害	(N=132)		(N=10)		(N=2)	
精神科医	9.8%	13	0.0%	0	0.0%	0
一般医	5.3%	7	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	11.4%	15	0.0%	0	0.0%	0
その他の専門家	3.0%	4	0.0%	0	0.0%	0
その他の相談先	4.5%	6	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	15.9%	21	0.0%	0	0.0%	0
いずれかの精神障害	(N=188)		(N=41)		(N=11)	
精神科医	17.6%	33	14.6%	6	18.2%	2
一般医	11.2%	21	2.4%	1	0.0%	0
医師合計	21.3%	40	17.1%	7	18.2%	2
その他の専門家	4.3%	8	2.4%	1	0.0%	0
その他の相談先	5.3%	10	2.4%	1	0.0%	0
相談先合計	26.6%	50	22.0%	9	18.2%	2

*「これまでの生涯」＝生涯診断ありの者の中でのこれまでに受診経験ありの者の割合。

「過去12ヶ月間」＝過去12ヶ月間に診断ありの者の中で過去12ヶ月間に受診経験ありの者の割合。

「過去30日間」＝過去30日間に診断ありの者の中で過去30日間に受診経験ありの者の割合。

注1: 疾患グループは以下のとおり。いずれかの気分障害＝うつ病エピソード、躁病エピソード、軽躁病エピソード、気分変調症。いずれかの神経症性・ストレス性障害＝パニック障害、広場恐怖、社会恐怖(社交不安障害)、特定の恐怖症、全般性不安障害、外傷後ストレス障害。いずれかの精神作用物質による障害＝アルコールの有害な使用あるいは依存症、薬物の有害な使用あるいは依存症。いずれかの精神障害＝以上のいずれかの精神障害。

注2: 受診・相談先は表18を参照のこと。

表21:こころの健康問題で専門家を受診することについての意識:対象者から抽出された者に対する追加調査

	性別(N=815)				いずれかの精神障害(DSM-IV診断)(N=815)			
	男性(N=394)		女性(N=421)		経験なし(N=628)		経験あり(N=187)	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
こころの健康問題で専門家を受診するかどうか								
絶対に受ける	72	18.3%	110	26.1%	145	23.1%	37	19.8%
おそらく受ける	207	52.5%	220	52.3%	334	53.2%	93	49.7%
おそらく受けない	91	23.1%	68	16.2%	117	18.6%	42	22.5%
絶対に受けない	18	4.6%	18	4.3%	23	3.7%	13	7.0%
不明・拒否	6	1.5%	5	1.2%	9	1.4%	2	1.1%
専門家に対して自分の問題を心を開いて話せるか								
とても心を開いて話せる	116	29.4%	116	27.6%	175	27.9%	57	30.5%
いくらか心を開いて話せる	210	53.3%	249	59.1%	365	58.1%	94	50.3%
あまり心を開いて話せない	40	10.2%	39	9.3%	62	9.9%	17	9.1%
全く心を開いて話せない	14	3.6%	8	1.9%	12	1.9%	10	5.3%
不明・拒否	14	3.6%	9	2.1%	14	2.2%	9	4.8%
専門家を受診したことが友人にしれたら恥ずかしいか								
とても恥ずかしい	36	9.1%	39	9.9%	54	8.6%	21	11.2%
いくらか恥ずかしい	146	37.1%	167	42.4%	242	38.5%	71	38.0%
あまり恥ずかしくない	114	28.9%	127	32.2%	187	29.8%	54	28.9%
全く恥ずかしくない	95	24.1%	84	21.3%	139	22.1%	40	21.4%
不明・拒否	3	0.8%	4	1.0%	6	1.0%	1	0.5%

表22:DSM-IVによる12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた生活上の支障

	生活上の支障(0-10点)*				生活上の支障の 総計(0-40点)
	自宅の管理	仕事・家事	親しい人間関係	地域・職場の関係	
大うつ病性障害					
度数	(18)	(15)	(18)	(17)	(14)
平均値	5.5	7.3	4.3	4.9	22.0
標準偏差	3.4	3.4	3.2	3.1	9.3
最小値	0	0	0	0	6
最大値	10	10	10	10	40
いずれかの気分障害(抑うつ時)					
度数	(20)	(16)	(20)	(19)	(15)
平均値	5.4	7.4	3.9	4.9	22.1
標準偏差	3.2	3.3	3.3	3.4	9.0
最小値	0	0	0	0	6
最大値	10	10	10	10	40
躁病あるいは軽躁病エピソード					
度数	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)
平均値	7.0	7.0	2.5	5.0	14.0
標準偏差	0.0	.	3.5	7.1	.
最小値	7	7	0	0	14
最大値	7	7	5	10	14
特定の恐怖症					
度数	-	-	-	-	-
平均値					
標準偏差					
最小値					
最大値					
社会恐怖(社交不安障害)					
度数	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)
平均値	5.5	5.0	4.0	4.0	16.0
標準偏差	0.7	.	1.4	1.4	.
最小値	5	5	3	3	16
最大値	6	5	5	5	16
全般性不安障害					
度数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
標準偏差
最小値	0	0	0	0	0
最大値	0	0	0	0	0
外傷後ストレス障害					
度数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
平均値	10.0	6.0	7.0	8.0	31.0
標準偏差
最小値	10	6	7	8	31
最大値	10	6	7	8	31

* その状態のためにそれぞれの領域でどの程度生活に支障があったかたずねた。生活上の支障はSheehan尺度で評価した。0点がまったく支障なし、10点が最大の支障ありを意味する。

注：特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外。

表23:ICD-10による12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた生活上の支障

	生活上の支障(0-10点)*				生活上の支障の 総計(0-40点)
	自宅の管理	仕事・家事	親しい人間関係	地域・職場の関係	
全てのうつ病エピソード					
度数	(15)	(12)	(15)	(14)	(11)
平均値	5.5	8.1	3.8	5.3	22.5
標準偏差	3.2	2.9	3.1	3.2	7.0
最小値	0	0	0	0	6
最大値	10	10	9	10	34
いずれかの気分(感情)障害(抑うつ時)					
度数	(17)	(13)	(17)	(16)	(12)
平均値	5.7	8.2	3.8	5.3	23.8
標準偏差	3.2	2.8	3.1	3.5	7.9
最小値	0	0	0	0	6
最大値	10	10	9	10	37
躁病あるいは軽躁病エピソード					
度数	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)
平均値	7.0	7.0	2.5	5.0	14.0
標準偏差	0.0	.	3.5	7.1	.
最小値	7	7	0	0	14
最大値	7	7	5	10	14
特定の恐怖症					
度数	-	-	-	-	-
平均値					
標準偏差					
最小値					
最大値					
社会恐怖(社交不安障害)					
度数	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
平均値	3.5	5.0	2.5	2.5	13.5
標準偏差	2.1	0.0	0.7	0.7	3.5
最小値	2	5	2	2	11
最大値	5	5	3	3	16
全般性不安障害					
度数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
標準偏差
最小値	0	0	0	0	0
最大値	0	0	0	0	0
外傷後ストレス障害					
度数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
平均値	10.0	6.0	7.0	8.0	31.0
標準偏差
最小値	10	6	7	8	31
最大値	10	6	7	8	31

* その状態のためにそれぞれの領域でどの程度生活に支障があったかたずねた。生活上の支障はSheehan尺度で評価した0点がまったく支障なし、10点が最大の支障ありを意味する。

注：特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外。

表24:DSM-IVによる12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた一年間の休業日数

	年間の休業日数				
	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
大うつ病性障害	(18)	33.3	87.0	0	365
いずれかの気分障害(抑うつ時)	(20)	30.1	82.9	0	365
躁病あるいは軽躁病エピソード	(2)	48.5	58.7	7	90
特定の恐怖症	-				
社会恐怖(社交不安障害)	(2)	2.5	3.5	0	5
全般性不安障害	(1)	0.0	.	0	0
外傷後ストレス障害	(1)	120.0	.	120	120

注:特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外.

表25:ICD-10による12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた一年間の休業日数

	年間の休業日数				
	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
全てのうつ病エピソード	(15)	33.9	93.9	0	365
いずれかの気分(感情)障害(抑うつ時)	(17)	51.6	119.5	0	365
躁病あるいは軽躁病エピソード	(2)	48.5	58.7	7	90
特定の恐怖症	-				
社会恐怖(社交不安障害)	(2)	2.5	3.5	0	5
全般性不安障害	(1)	0.0	.	0	0
外傷後ストレス障害	(1)	120.0	.	120	120

注：特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外。

表26: 身体的健康

		「一般的に見て、あなたの身体的な健康は、きわめて良いですか、とても良いですか、良いですか、まあまあですか、それとも不健康ですか」												再掲	
		きわめて良い		とても良い		良い		まあまあ		不健康		合計		身体的健康がよい者*	
性別	年齢層	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
男性	20-34	18	27.7	16	24.6	17	26.2	12	18.5	2	3.1	65	100.0	51	78.5
	35-44	9	11.8	16	21.1	32	42.1	16	21.1	3	3.9	76	100.0	57	75.0
	45-54	8	9.6	13	15.7	31	37.3	25	30.1	6	7.2	83	100.0	52	62.7
	55-64	7	7.5	17	18.3	42	45.2	23	24.7	4	4.3	93	100.0	66	71.0
	65+	13	13.4	11	11.3	34	35.1	29	29.9	10	10.3	97	100.0	58	59.8
	男性計	55	13.3	73	17.6	156	37.7	105	25.4	25	6.0	414	100.0	284	68.6
女性	20-34	21	24.7	17	20.0	31	36.5	14	16.5	2	2.4	85	100.0	69	81.2
	35-44	15	16.0	18	19.1	40	42.6	17	18.1	4	4.3	94	100.0	73	77.7
	45-54	10	13.3	5	6.7	25	33.3	30	40.0	5	6.7	75	100.0	40	53.3
	55-64	3	3.4	13	14.6	43	48.3	26	29.2	4	4.5	89	100.0	59	66.3
	65+	4	4.2	13	13.7	28	29.5	41	43.2	9	9.5	95	100.0	45	47.4
	女性計	53	12.1	66	15.1	167	38.1	128	29.2	24	5.5	438	100.0	286	65.3
	合計	108	12.7	139	16.3	323	37.9	233	27.3	49	5.8	852	100.0	570	66.9

* 身体的な健康が「きわめて良い」「とても良い」あるいは「良い」と回答した者

表27: 精神的健康

		「一般的に見て、あなたの精神的な健康は、きわめて良いですか、とても良いですか、良いですか、まあまあですか、それとも不健康ですか」												再掲	
性別	年齢層	きわめて良い		とても良い		良い		まあまあ		不健康		合計		精神的健康がよい者*	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
男性	20-34	18	27.7	16	24.6	15	23.1	13	20.0	3	4.6	65	100.0	49	75.4
	35-44	9	11.8	14	18.4	31	40.8	19	25.0	3	3.9	76	100.0	54	71.1
	45-54	8	9.6	15	18.1	38	45.8	16	19.3	6	7.2	83	100.0	61	73.5
	55-64	7	7.5	20	21.5	46	49.5	17	18.3	3	3.2	93	100.0	73	78.5
	65+	17	17.5	14	14.4	45	46.4	20	20.6	1	1.0	97	100.0	76	78.4
	男性計	59	14.3	79	19.1	175	42.3	85	20.5	16	3.9	414	100.0	313	75.6
女性	20-34	19	22.4	23	27.1	29	34.1	12	14.1	2	2.4	85	100.0	71	83.5
	35-44	10	10.6	17	18.1	39	41.5	26	27.7	2	2.1	94	100.0	66	70.2
	45-54	8	10.7	7	9.3	32	42.7	24	32.0	4	5.3	75	100.0	47	62.7
	55-64	6	6.7	14	15.7	44	49.4	25	28.1	0	0.0	89	100.0	64	71.9
	65+	10	10.5	14	14.7	38	40.0	28	29.5	5	5.3	95	100.0	62	65.3
	女性計	53	12.1	75	17.1	182	41.6	115	26.3	13	3.0	438	100.0	310	70.8
	合計	112	13.1	154	18.1	357	41.9	200	23.5	29	3.4	852	100.0	623	73.1

* 精神的な健康が「きわめて良い」「とても良い」あるいは「良い」と回答した者

表28:これまでの自殺関連行動の頻度

性別	年齢層	解析人数 ^{注1)}	これまでに本気で自殺を考えた*		これまでに自殺の計画をたてた		これまでに自殺を試みた	
			度数	%	度数	%	度数	%
男性	20-34	62	3	4.8	0	0.0	0	0.0
	35-44	73	10	13.7	1	1.4	1	1.4
	45-54	80	7	8.8	1	1.3	0	0.0
	55-64	88	6	6.8	0	0.0	0	0.0
	65+	90	5	5.6	1	1.1	1	1.1
	男性計	393	31	7.9	3	0.8	2	0.5
女性	20-34	82	8	9.8	3	3.7	1	1.2
	35-44	91	11	12.1	4	4.4	4	4.4
	45-54	72	6	8.3	1	1.4	2	2.8
	55-64	84	6	7.1	1	1.2	1	1.2
	65+	92	1	1.1	0	0.0	0	0.0
	女性計	421	32	7.6	9	2.1	8	1.9
	合計	814	63	7.7	12	1.5	10	1.2

^{注1)} 自殺についての質問の回答を拒否した者が存在したため解析人数が全対象者数より少なくなっている

表29: 過去12カ月間の自殺関連行動の頻度

性別	年齢層	解析人数 ^{注1)}	過去12カ月間に本気で自殺を考えた		過去12カ月間に自殺の計画をたてた*		過去12カ月間に自殺を試みた	
			度数	%	度数	%	度数	%
男性	20-34	62	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	35-44	73	3	4.1	0	0.0	0	0.0
	45-54	80	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	55-64	88	2	2.3	0	0.0	0	0.0
	65+	90	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	男性計	393	5	1.3	0	0.0	0	0.0
女性	20-34	82	1	1.2	0	0.0	0	0.0
	35-44	91	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	45-54	72	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	55-64	84	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	65+	92	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	女性計	421	1	0.2	0	0.0	0	0.0
合計	814	6	0.7	0	0.0	0	0.0	

注1) 自殺についての質問の回答を拒否した者が存在したため解析人数が全対象者数より少なくなっている

表29:DSM-IV診断による主要な精神障害の生涯有病率(性別)

	男性(666名)		女性(709名)		合計(1375名)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害							
大うつ病性障害	4.1%	27	7.2%	51	5.7%	78	6.3 *
小うつ病性障害	0.3%	2	0.6%	4	0.4%	6	0.6
躁病エピソード	0.6%	4	0.4%	3	0.5%	7	0.2
双極I型障害	0.6%	4	0.4%	3	0.5%	7	0.2
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.3%	2	0.1%	2	1.9
双極II型障害	0.0%	0	0.1%	1	0.1%	1	0.9
気分変調性障害	0.8%	5	0.7%	5	0.7%	10	0.0
いずれかの気分障害	5.1%	34	8.5%	60	6.8%	94	6.1 *
不安障害							
パニック障害	0.2%	1	0.6%	4	0.4%	5	1.6
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.2%	1	0.3%	2	0.2%	3	0.3
社会恐怖(社交不安障害)	1.2%	8	2.3%	16	1.7%	24	2.2
特定の恐怖症 [#]	1.6%	4	4.4%	12	3.1%	16	3.6
全般性不安障害	1.1%	7	1.8%	13	1.5%	20	1.5
心的外傷後ストレス障害	0.0%	0	1.1%	8	0.6%	8	7.6 **
いずれかの不安障害	3.0%	20	6.3%	45	4.7%	65	8.5 **
物質関連障害							
アルコール乱用	24.0%	160	8.6%	61	16.1%	221	60.5 **
アルコール依存	0.5%	3	0.0%	0	0.2%	3	3.2
薬物乱用	0.3%	2	0.4%	3	0.4%	5	0.1
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
いずれかの物質関連障害	24.6%	164	8.7%	62	16.4%	226	63.1 **
いずれかの精神障害	29.4%	196	18.8%	133	23.9%	329	21.5 **

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)[#]特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外されたため、平成25年度の数値を記載(n=523[男性252名, 女性271名]).
いずれかの不安障害、およびいずれかの精神障害には特定の恐怖症を含む。

表30:DSM-IV診断による主要な精神障害の12カ月有病率(性別)

	男性(666名)		女性(709名)		合計(1375名)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害							
大うつ病性障害	1.7%	11	3.4%	24	2.5%	35	4.2 *
小うつ病性障害	0.2%	1	0.1%	1	0.1%	2	0.0
躁病エピソード	0.2%	1	0.3%	2	0.2%	3	0.3
双極I型障害	0.2%	1	0.3%	2	0.2%	3	0.3
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
双極II型障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
気分変調性障害	0.2%	1	0.3%	2	0.2%	3	0.3
いずれかのお気分障害	2.0%	13	3.8%	27	2.9%	40	4.2 *
不安障害							
パニック障害	0.0%	0	0.3%	2	0.1%	2	1.9
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.3%	2	0.1%	2	1.9
社会恐怖(社交不安障害)	0.5%	3	1.6%	11	1.0%	14	4.1 *
特定の恐怖症 [#]	0.4%	1	1.8%	5	1.1%	6	2.4
全般性不安障害	0.3%	2	0.4%	3	0.4%	5	0.1
外傷後ストレス障害	0.0%	0	0.6%	4	0.3%	4	3.8
いずれかのお不安障害	0.9%	6	3.4%	24	2.2%	30	9.9 **
物質関連障害							
アルコール乱用	1.4%	9	1.3%	9	1.3%	18	0.0
アルコール依存	0.2%	1	0.0%	0	0.1%	1	1.1
薬物乱用	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれかのお物質関連障害	1.5%	10	1.3%	9	1.4%	19	0.1
いずれかのお精神障害	4.2%	28	7.3%	52	5.8%	80	6.1 *

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

[#]特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外されたため、平成25年度の数値を記載(n=523[男性252名, 女性271名]).

いずれかのお不安障害、およびいずれかのお精神障害には特定の恐怖症を含む。

表31: DSM-IV診断による主要な精神障害の生涯有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=255)		35-44歳 (N=270)		45-54歳 (N=254)		55-64歳 (N=284)		65歳以上 (N=314)		合計 (N=1377)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害													
大うつ病性障害	7.5%	19	7.8%	21	5.1%	13	4.6%	13	3.8%	12	5.7%	78	6.5
小うつ病性障害	0.4%	1	0.4%	1	1.6%	4	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	6	10.3 *
躁病エピソード	0.4%	1	1.1%	3	0.8%	2	0.4%	1	0.0%	0	0.5%	7	4.1
双極I型障害	0.4%	1	1.1%	3	0.8%	2	0.4%	1	0.0%	0	0.5%	7	4.1
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.7%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.1%	2	8.2
双極II型障害	0.0%	0	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.1%	1	4.1
気分変調性障害	0.0%	0	1.1%	3	1.2%	3	0.7%	2	0.6%	2	0.7%	10	3.2
いずれかの気分障害	8.2%	21	10.0%	27	7.9%	20	4.9%	14	3.8%	12	6.8%	94	11.6 *
不安障害													
パニック障害	0.4%	1	0.7%	2	0.4%	1	0.0%	0	0.3%	1	0.4%	5	2.1
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.7%	2	0.0%	0	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	3	5.4
社会恐怖(社交不安障害)	3.5%	9	2.2%	6	1.6%	4	1.1%	3	0.6%	2	1.7%	24	8.2
特定の恐怖症 [#]	2.9%	3	2.0%	2	3.1%	3	2.9%	3	4.1%	5	3.0%	16	0.8
全般性不安障害	1.2%	3	2.6%	7	1.6%	4	1.4%	4	0.6%	2	1.5%	20	4.1
外傷後ストレス障害	1.2%	3	1.1%	3	0.4%	1	0.0%	0	0.3%	1	0.6%	8	5.1
いずれかの不安障害	6.3%	16	6.7%	18	4.3%	11	3.9%	11	2.9%	9	4.7%	65	6.6
物質関連障害													
アルコール乱用	19.2%	49	18.9%	51	17.7%	45	15.8%	45	9.9%	31	16.0%	221	12.9 *
アルコール依存	0.8%	2	0.0%	0	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	3	6.0
薬物乱用	0.8%	2	1.1%	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	5	8.5
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
いずれかの物質関連障害	20.0%	51	19.6%	53	18.1%	46	15.8%	45	9.9%	31	16.4%	226	14.8 **
いずれかの精神障害	30.2%	77	27.8%	75	24.4%	62	22.5%	64	16.2%	51	23.9%	329	18.2 **

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)[#]特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外されたため、平成25年度の数値を記載(n=523[20-34歳:105名, 35-44歳:100名, 45-54歳:96名, 55-64歳:102名, 65歳以上:122名])
いずれかの不安障害、およびいずれかの精神障害には特定の恐怖症を含む。

表32: DSM-IV診断による主要な精神障害の12カ月有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=255)		35-44歳 (N=270)		45-54歳 (N=254)		55-64歳 (N=284)		65歳以上 (N=314)		合計 (N=1377)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害													
大うつ病性障害	3.9%	10	3.7%	10	3.1%	8	1.4%	4	1.0%	3	2.5%	35	8.5
小うつ病性障害	0.4%	1	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.1%	2	3.3
躁病エピソード	0.4%	1	0.4%	1	0.0%	0	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	3	2.1
双極I型障害	0.4%	1	0.4%	1	0.0%	0	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	3	2.1
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
双極II型障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
気分変調性障害	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	2	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	3	5.9
いずれかの気分障害	4.7%	12	4.4%	12	3.1%	8	1.8%	5	1.0%	3	2.9%	40	10.8 *
不安障害													
パニック障害	0.0%	0	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.3%	1	0.1%	2	2.7
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.7%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.1%	2	8.2
社会恐怖(社交不安障害)	2.4%	6	1.1%	3	1.2%	3	0.0%	0	0.6%	2	1.0%	14	8.0
特定の恐怖症 [#]	1.0%	1	2.0%	2	1.0%	1	1.0%	1	0.8%	1	1.1%	6	0.8
全般性不安障害	0.0%	0	0.7%	2	0.8%	2	0.0%	0	0.3%	1	0.4%	5	4.3
外傷後ストレス障害	0.8%	2	0.4%	1	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.3%	4	4.0
いずれかの不安障害	2.7%	7	3.7%	10	2.8%	7	0.4%	1	1.6%	5	2.2%	30	8.7
物質関連障害													
アルコール乱用	3.5%	9	1.5%	4	1.2%	3	0.7%	2	0.0%	0	1.3%	18	14.8 **
アルコール依存	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.1%	1	4.4
薬物乱用	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
いずれかの物質関連障害	3.9%	10	1.5%	4	1.2%	3	0.7%	2	0.0%	0	1.4%	19	17.5 **
いずれかの精神障害	10.6%	27	7.8%	21	6.3%	16	2.8%	8	2.5%	8	5.8%	80	23.4 **

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

[#]特定の恐怖症は平成26年度調査より調査対象から除外されたため、平成25年度の数値を記載(n=523[20-34歳:105名, 35-44歳:100名, 45-54歳:96名, 55-64歳:102名, 65歳以上:122名])

いずれかの不安障害、およびいずれかの精神障害には特定の恐怖症を含む。